

和坂校区まちづくり協議会 生活・安全部主催

“振り込め詐欺対策 被害予防セミナー” 開催

6月10日（日）13:00～14:20 明石警察署 生活安全第1課「振り込め詐欺対策室」 兵庫県警部補 尾内弘様をお招きして、振り込め詐欺の被害の実態、新しい手口の紹介や、詐欺師の話のなかで必ず使われるキーワードがある等と、騙されないための心得等をお話して頂きました。



息子をかたる詐欺のキーワードは「風邪をひいている」「携帯電話の番号を変えた」という。去年初めて娘をかたり300万円被害にあった。

「あなたのキャッシュカードが不正に使われている」と警察からかかってくる。デパートや大手家電量販店を名乗り「あなたのカードが不正に使われている。カードを更新するのでカードを預かりに行く」といって騙し取る。

「電子マネーを買ってくれ」、「宅配便でお金を送れ」というのは詐欺。
還付金詐欺：市役所や社会保険事務所からは個別に電話はしてこない。

「コンビニに行け」というのはまちがいでなく詐欺。

電話は留守電にしておくのと録音されるのを恐れ、詐欺師は敬遠する。

和坂校区まちづくり協議会加盟の9自治会・町内会より約80名の聴講者が集まり、真剣な面持ちで、警部補の詳細な説明を聞き納得しました。詐欺師も金品を騙し取る手段もどんどん進化して、役割分担をして、巧妙な罠を用意しているのです、十分に注意が必要だと思いました。



今年の振り込め詐欺の被害件数

全国で約1万8千件 被害額 約324億円

おそらく被害に遭っても黙っている人もいて 2倍程度被害にあっている。

明石市・加古川 東播地区 31件 約3200万円

被害者の分析

65才以上：70%、女性：70% 高齢の女性が標的

今年40代の女性も振り込め詐欺にあった。

詐欺集団の一部は中国から国際電話でかけてくる。警察は捜査できない。

詐欺集団はターゲットからお金を受け取る「受け子」を必ず近くに配置している。

内容の濃いセミナーでした。今日勉強したことは家族や知り合い、自治会や高年クラブの皆さんにもお話をして頂き、振り込め詐欺の被害に合わないよう啓発して下さい。

”騙されたらアカン”

生活・安全部 部長 桜井 孜